

泉大津市
市民みんなの「未来の学びの場」を
考えるワークショップ

2021年10月23日(土)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

本日の予定

時間	内容
10:00～ 2分程度	開会 ・ワークショップ進行説明
10:02～ 3分程度	泉大津市よりご挨拶
10:05～ 15分程度	・教育施設再編に関する泉大津市の取組み等について説明 ・ワークショップ概要及び提供資料説明
10:20～ 85分程度	意見交換 ・自己紹介 ・施設利用の経験 ・教育施設の好きなところ、使いやすいところ ・利用にあたって不便なこと、問題と思うこと （使ったことがない方は、使いたいけど使えない理由等） ・これからの教育施設は、どのような施設であってほしいと思うか
11:45～ 15分程度	本日の振り返り ・各グループからの発表（1グループ3分程度）
12:00	閉会 ・次回の予定の説明

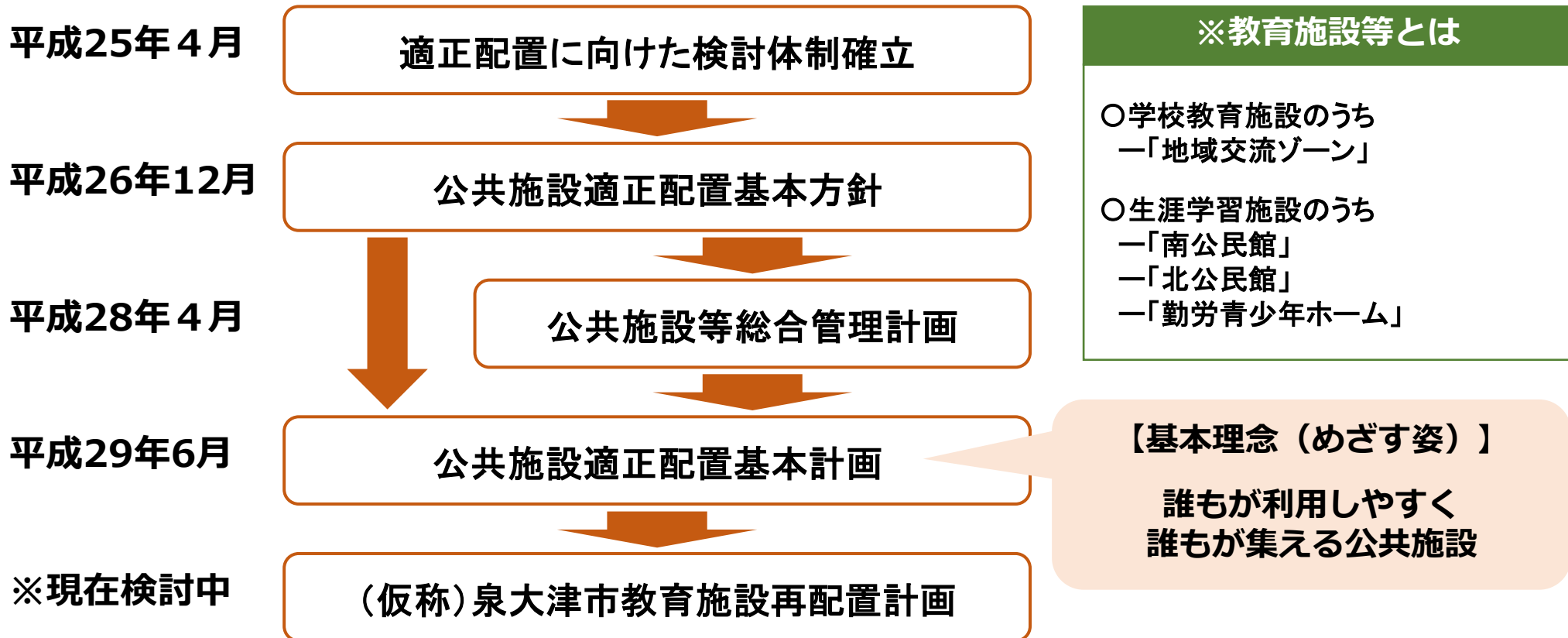


教育施設の再編に関する泉大津市の取組み

泉大津市教育委員会教育部 教育政策課

1. 教育施設の再編とは

- 平成29年度に策定した「泉大津市公共施設適正配置基本計画」に基づいて、市民の皆様にとっての「学びの場」である教育施設(※)の将来のあり方や整備の方向性を定める「(仮称) 泉大津市教育施設配置計画」を検討中です。



2. 再編によってめざすこと

市の 方針

コミュニティスクールなど学校と地域の連携の拠点として
各小中学校の中に「新たなゾーン」を整備

- 
- この方針にあわせて、教育施設全体の再編に取り組み、以下のことを目指します。

① より多くの、より多様な市民が利用したくなる環境を整備

- ✓ より身近で、多様な利用ができ、容易に使える環境を整備します。

② 市民ニーズを踏まえ、公共施設のサービスの質を向上

- ✓ 幅広い市民に向けたサービスの充実や魅力の向上を目指します。

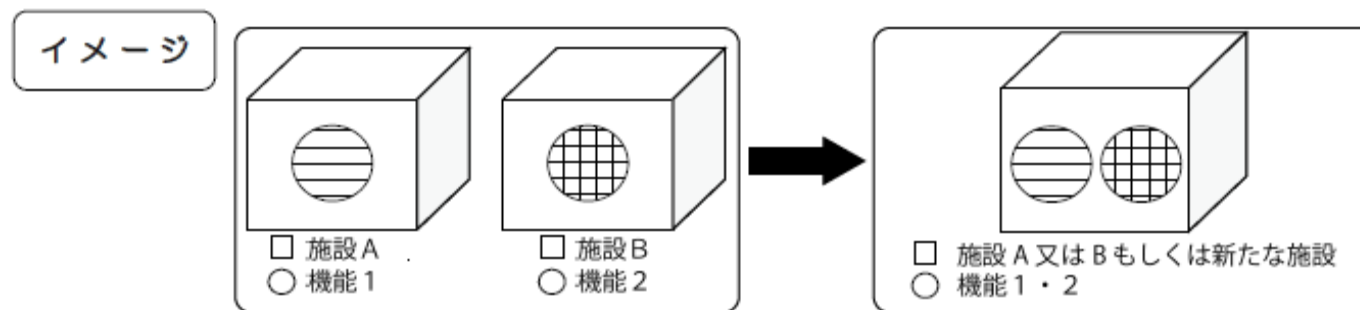
③ 施設の適切な維持管理、効率的な運営を推進し、将来負担を軽減

- ✓ 複合化・多機能化によって、生涯学習施設をはじめとする公共施設面積の、適切な規模への削減を行います。
- ✓ より効果的・効率的な管理・運営の実現を目指します。

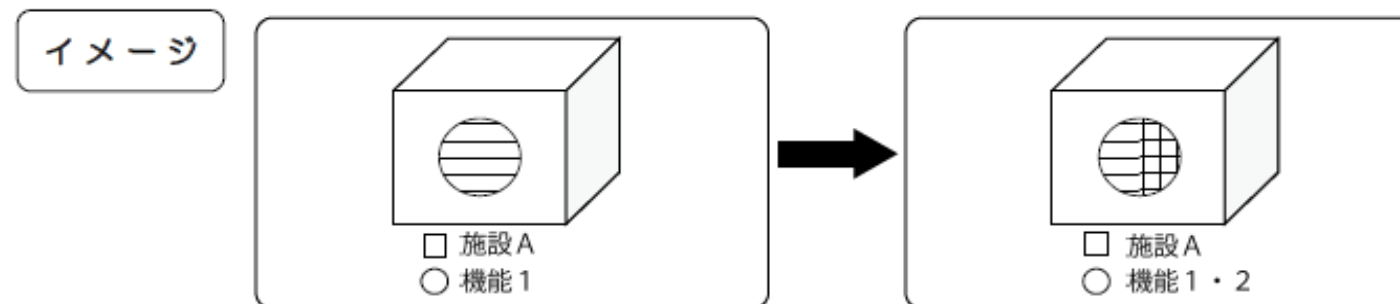
3. 教育施設再編のイメージ

- 教育施設の再編にあたって、施設の複合化・多機能化を検討します。

○ 複合化：機能が異なる複数の施設を1つの施設に集約すること。



○ 多機能化：1つの空間を利用時間等で分け、従来の機能以外の機能を加え、より多くの機能を持たせること。（空間の地域開放も多機能化に含みます。）

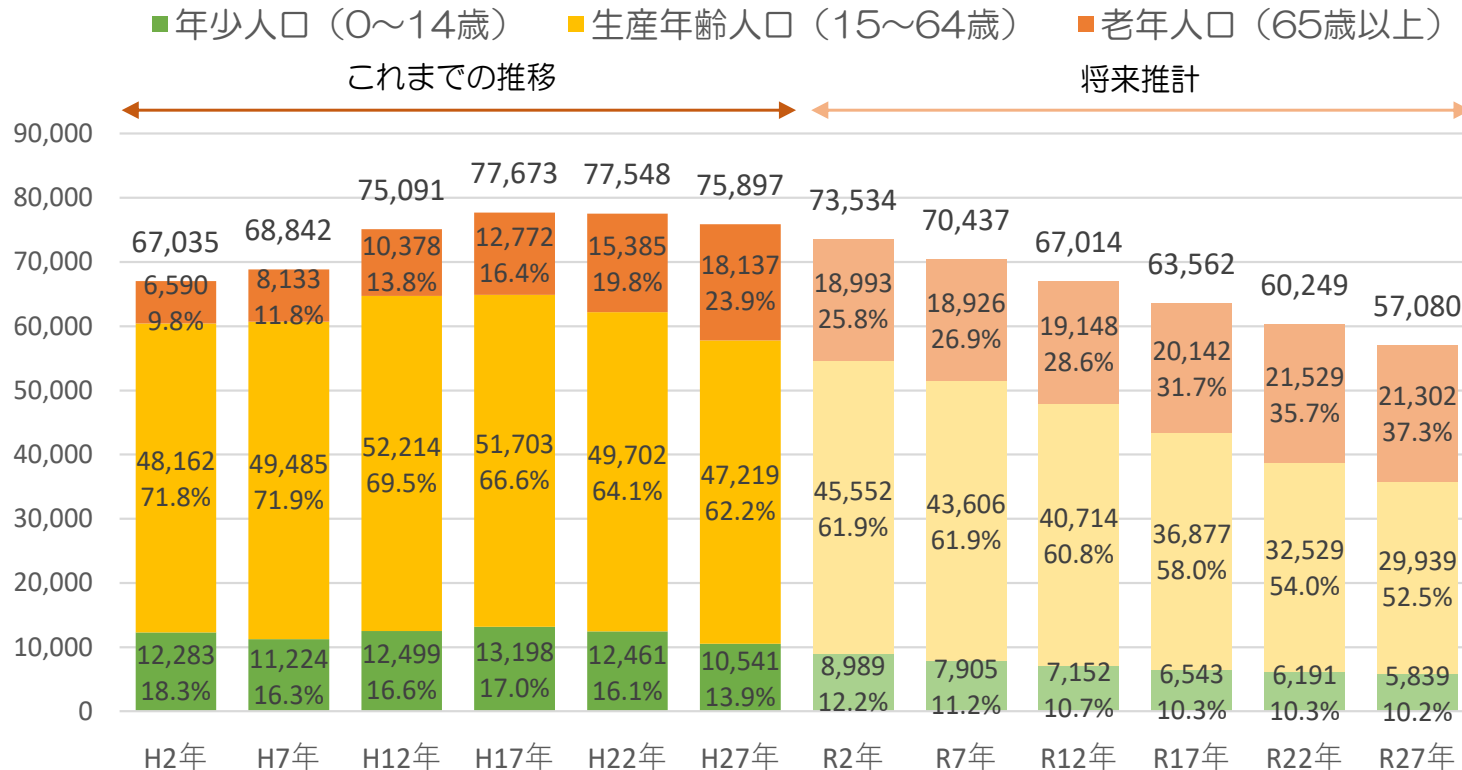


出典：「公共施設適正配置基本計画」より

4. 再編を検討する背景

今後の人口減少や少子高齢化の進行が、財政状況に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

- ・平成17年をピークに減少に転じています。
- ・今後も「人口減少と少子高齢化」が著しく進行することが予想されます。



5. 本ワークショップの目的

- 現在泉大津市では、既存の教育施設の現状や課題、市民ニーズなどを把握し、将来の教育施設のあり方や整備の方向性についてまとめた「(仮称)泉大津市教育施設配置計画」を策定するための検討を進めています。
- 本ワークショップは、その一環として市内教育施設に関するご意見などを全4回の日程で、市内教育施設の関係者、公募市民の皆さまからの幅広く伺う場です。



6. ワークショップ参加にあたってのお願い

- 本ワークショップは、各回テーマを設けその中で市民のみなさんが感じている、教育施設利用に関する課題などを幅広く提示していただき、その内容は今後の市としての検討の一助にしたいと考えています。
- ご参加頂いている皆さんのそれぞれの立場や考えを十分に尊重して頂き、前向きなご意見を頂けると幸いです。
- ワークショップでまとめた意見は「(仮称)泉大津市教育施設配置計画」の内容に反映しますが、提案すべてがそのまま配置計画に反映されるものではないことをご理解ください。



7. ワークショップのスケジュール

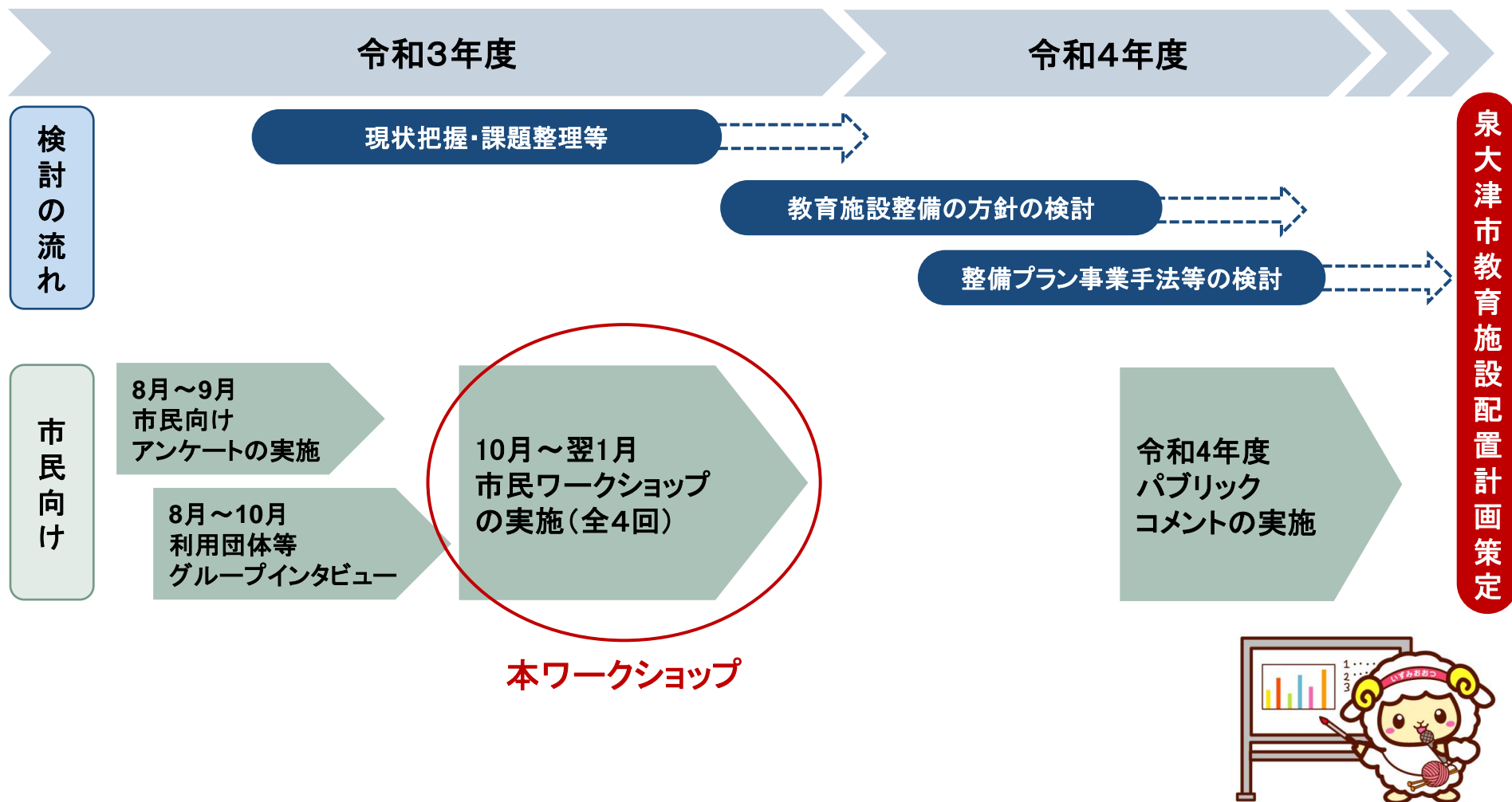
(1) 全体スケジュール

本ワークショップの全体スケジュールは以下のとおり予定しております。

回	日程	プログラム（予定）	場所
第1回	10月23日（土）	「教育施設について知ろう」	テクスピア大阪 ミニホール
第2回	11月20日（土）	「教育施設で何がしたい？何が できる？」	条南小学校図書室
第3回	12月18日（土）	「未来の学びの場」のあり方につ いて」	条南小学校図書室 or 旭小学校多目的室
第4回	1月29日（土）	「ワークショップの振り返り」	条南小学校図書室 or 旭小学校多目的室

7. ワークショップのスケジュール

(2) 今後の計画策定の流れと本ワークショップの位置付けについて

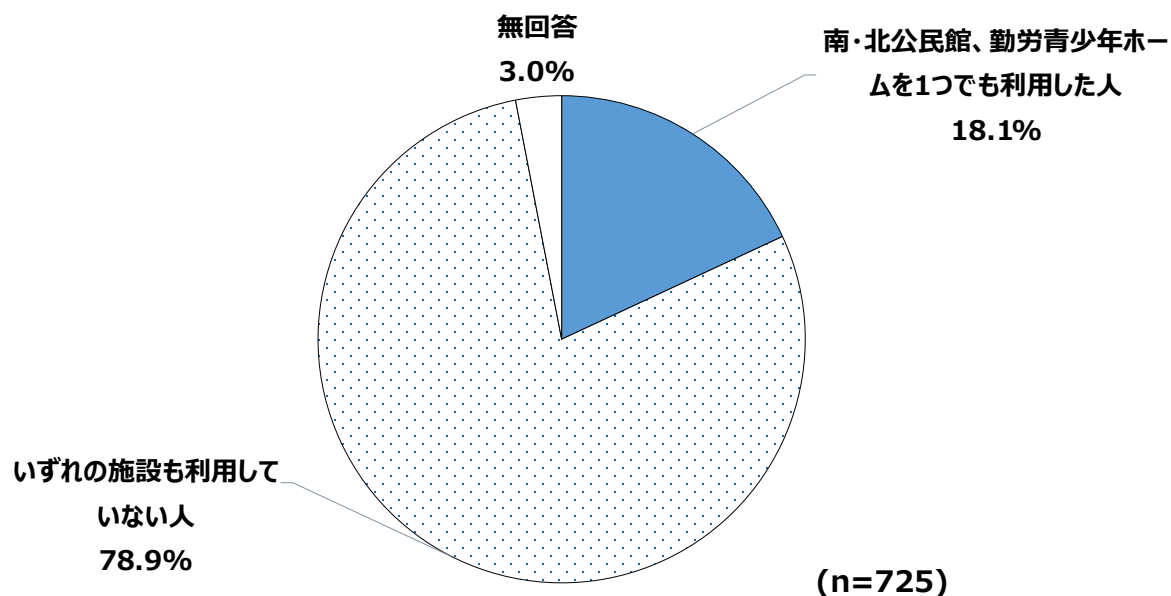


8. 市民向けアンケート結果紹介

(1)あなたは過去3年間に、南・北公民館、勤労青少年ホームを利用しましたか？
【南・北公民館、勤労青少年ホームのうちいずれか1つでも利用した人の割合】

南・北公民館、勤労青少年ホームのうちいずれか1つでも利用した人の割合は18.1%、いずれの施設も利用していない人は、78.9%と、いずれの施設も利用していない人が約8割を占めている。

過去3年間の施設の利用状況



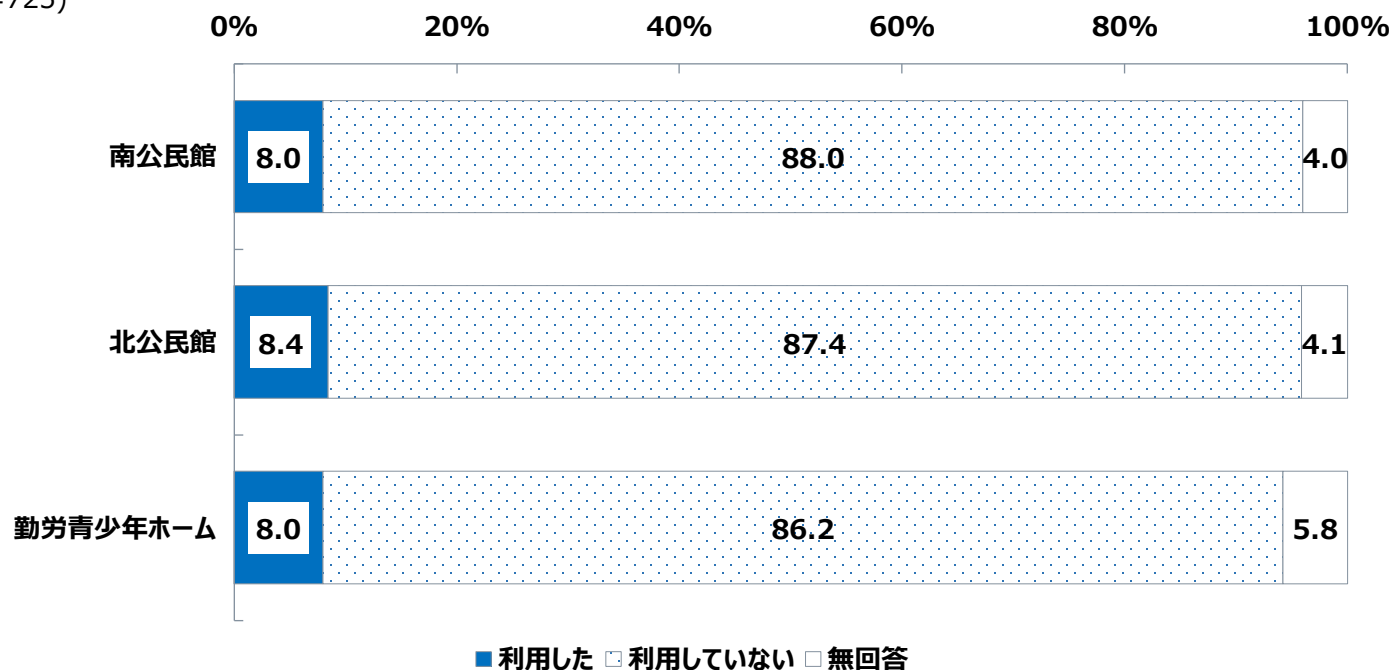
8. 市民向けアンケート結果紹介

(2) あなたは過去3年間に、南・北公民館、勤労青少年ホームを利用しましたか？〈それぞれ1つに○印〉

南公民館は、「利用していない」が88.0%、「利用した」が8.0%、北公民館は、「利用していない」が87.4%、「利用した」が8.4%、勤労青少年ホームは、「利用していない」が86.2%、「利用した」が8.0%となっている。どの施設も約8割の人が利用していない。

過去3年間の各施設の利用状況

(n=725)



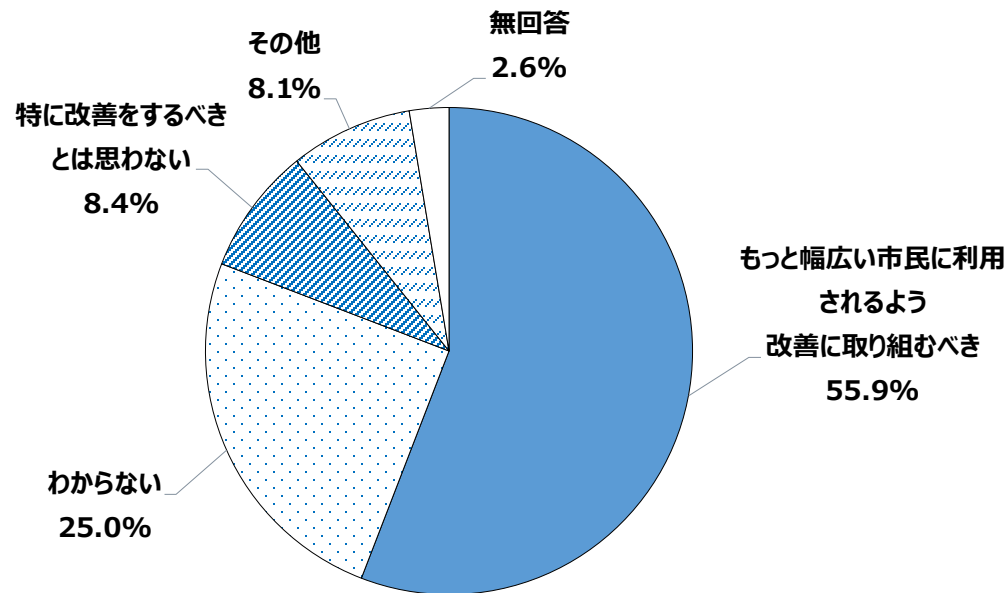
8. 市民向けアンケート結果紹介

(3) 平成28年に実施した市民アンケートでは、過去1年間に南・北公民館、勤労青少年ホームを「利用していない」と回答した人が8割以上でした。このことについてどのように思いますか？ <1つに○印>

南・北公民館、勤労青少年ホームの利用状況に関する意見は、「もっと幅広い市民に利用されるよう改善に取り組むべき」が最も高く55.9%と過半数を占め、「特に改善をするべきとは思わない」が8.4%となっている。

南・北公民館、勤労青少年ホームの利用状況に関する意見

(n=725)

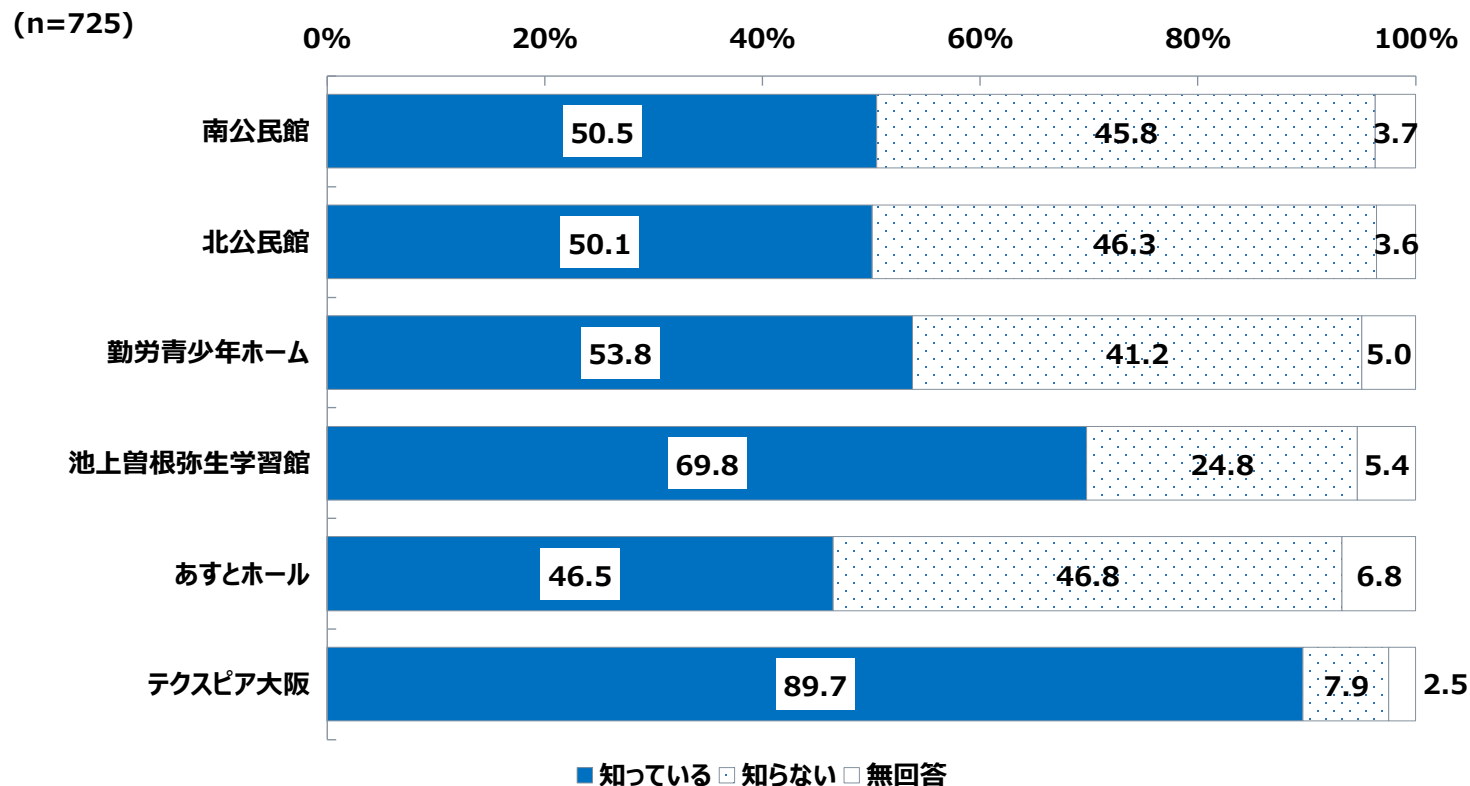


8. 市民向けアンケート結果紹介

(4) あなたは以下の施設がどこにあるか知っていますか？ <それぞれ1つに○印>

生涯学習施設の場所について、「南公民館」「北公民館」「勤労青少年ホーム」これら3施設の場所を「知っている」との回答はいずれも約半数となっている。

各施設の場所の認知状況



9. 現在の教育施設について

(1) 学校教育施設

○現在市内には11の市立小・中学校が設置されています。

これら小・中学校には、図書室や多目的室などをそなえた「地域交流ゾーン」を、順次整備する予定です。

○「地域交流ゾーン」は、市民の新たな学びの場や交流の場になるとともに、地域と学校が連携した取組みを行う場としても活用します。

○また先行して、学校における図書室等の開放(平成26年度～)に取り組んでいます。

【地域交流ゾーンのイメージ】



【学校における図書室等の開放】

○りぶれEBISU(戒小)、○ミント条東(条東小)

○ブックランド・あさひ(旭小)



9. 現在の教育施設について

(2) 生涯学習施設

○現在は、市民の主な学びの場、交流の場として、南・北公民館や勤労青少年ホームといった生涯学習施設があります。

○しかし、これらの施設は、建設から年数が経ち、建物や設備などの老朽化が進んでいます。

【南公民館】

【北公民館】

【勤労青少年ホーム】

建築年	1974年
築年数	47年
延床面積	1,683㎡ (約510坪)

建築年	1981年
築年数	40年
延床面積	1,531㎡ (約464坪)

建築年	1980年
築年数	41年
延床面積	1,020㎡ (約309坪)



9. 現在の教育施設について

(3) 多様な市民の学びの場

【あすとホール】

建築年	2000年
延床面積	536㎡



【テクスピア大阪】

建築年	1992年
延床面積	13,293㎡(約4,028坪)



【新図書館（シープラ）】

建築年	2021年
延床面積	3,510㎡(約1,064坪)



【池上曾根弥生学習館】

建築年	2000年
延床面積	934㎡(約283坪)



【ココフレア】

建築年	2017年
延床面積	87.22㎡



【（仮称）小松公園】

建築年	2023年(予定)
敷地面積	約35,000㎡

